

# 日置市人権フェスタ2025

令和7年12月7日(日)、日置市東市来町下野建設文化ホールにおいて、鹿児島人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催の「日置市人権フェスタ2025」が開催されました。

総勢80名による、日置市ジュニアオーケストラの迫力ある演奏がオープニングを飾りました。鹿児島地方法務局主催の人権作文コンテスト応募作品の中から日置市で選ばれた小・中学生2名の作文朗読後、鹿児島県立伊集院高校演劇部による、ハンセン病患者として隔離された主人公を描いた「その人の名前は」が上演されました。

色紙は同校演劇部顧問上田美和先生から法務局人権擁護課に寄贈いただいたものです。



\* 「この作品は、この夏、国立療養所栗生楽泉園(くりゅうらくせんえん・群馬県吾妻郡草津町)、国立療養所多摩全生園(たまぜんしょうえん・東京都東村山市)、国立療養所星塚敬愛園(ほしづかけいあいえん・鹿児島県鹿屋市)、国立療養所奄美和光園(あまみわこうえん・鹿児島県奄美市)の4つの療養所を顧問(上田先生)が訪れ、関係する方々からお話を伺い、戯曲化したものです。作品のモデルは、鹿屋の星塚敬愛園におられた島比呂志さんや豎山勲さん、上野正子さんや玉城シゲさんといった、「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」の第一次原告に関係する人々です。作品を通じて人が人として幸福を追求して生きることの尊さを私たち自身が知りました。ご覧になった方々にも、何らかの人権に対する思いを抱いて頂けたら幸いです。

伊集院高校演劇部生徒一同 顧問上田美和(20

2 5 . 1 2 . 1 9 )